

Contest

【過去の結果発表】

2007年オリジナル作品作曲コンテスト 結果発表

★「カテゴリー A」 入選：該当作品なし★

2007年上半期のオリジナル作品作曲コンテスト「カテゴリー A」の審査が過日、ズーラシアンブラス作曲家・制作陣（下記参照）により行われました。多数の応募作品の中、一次審査を6作品が通過いたしました。その後二次審査を行いました。最高でも68点と点数が伸びず、入選の審査規定80点に届く作品がなかったため、今回は「入選作品なし」という残念な結果に終わりました。

現在、コンテスト・カテゴリーB「金管アンサンブル変奏曲」で作品を募集しています。こちらは「かたつむり」「きらきらぼし」「かっこう」のいずれかを主題とした変奏曲のコンテストとなります。新たな才能の登場を楽しみにお待ちしておりますので、是非ふるってご参加ください。今後ともよろしく願いいたします。

(2007/7/31)

【審査員】

- 三澤 慶（ズーラシアンブラス・クラシック担当音楽監督 トランペット奏者、作曲家、侍 BRASS メンバー、2006年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者）
高橋宏樹（ズーラシアンブラス専属作編曲家 2005年度全日本吹奏楽コンクール課題曲作曲者）
石川亮太（ズーラシアンブラス専属作編曲家）
大塚治之（ズーラシアンブラス制作者）

【総評】

どの作品もかなり高い技術と知識に裏打ちされたものが多い一方、全体を俯瞰して見渡す構成感が欠落している、というアンバランスを感じました。

音楽の部分部分においては、どの作品も非常にはハイクオリティーで実際の演奏でも良いサウンドが期待できる一方で、トータルとして音楽を眺めた時に、非常に退屈で感動に結びつかないものが多いです。

特に金管アンサンブルの場合、聴衆、演奏者とも「スッキリしたい！」という想いが強く、1箇所でも圧倒的にスッキリできる部分があれば、多少中身が混沌としていても「良い作品」という評価につながります。

今後、皆さん持ち前の高い技術が、聴衆または演奏者の立場に立った感動に昇華された作品が生まれる事を期待しています。

(2007.07.31 三澤 慶)